

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です

ヒロシマ・ナガサキ原爆展
 日時▶8月9日(火)~8月14日(日)
 10:00~21:00
 会場▶ふれあいエスブ塩釜
 アートギャラリー/ミーティングルーム
 展示 被爆者証言DVD
 被爆者医療を担当した医師の話
 紙芝居 アニメ「つるのつて」 **入場無料**

◆ご来場の際は、マスク着用の上、手指消毒のご協力をお願いします
 主催/被爆者の声を未来につなぐ塩釜地区原爆展実行委員会
 後援/塩釜市 塩釜市教育委員会 TEL 022-365-5175(代表)

みやぎ民医連

発行所 宮城県民主医療機関連合会
 仙台市青葉区木町通1-8-18
 〒980-0801 田村ビル5F
 TEL 022-265-2601
 FAX 022-263-8266
 e-mail:dai@miyagi-min.com
 発行人 坂田 匠
 1日・15日 月2回発行 1部50円



講演する伊藤千尋氏(左上)

伊藤千尋氏プロフィール
 ジャーナリスト。1949年、山口県生まれ。東京大学法学部卒業。1974年、朝日新聞に入社。サンパウロ支局長、バルセロナ支局長、ロサンゼルス支局長などを歴任、40年にわたり主に国際報道の分野で取材を続けた。2014年に朝日新聞退職後も、フリーのジャーナリストとして各国の取材を続け、精力的に執筆と講演を行っている。「コスタリカ平和の会」共同代表。「九条の会」世話人。東京都柏江市在住。

私は今まで、ウクライナの戦争について根本の原因は何なのか、日本とどのような関係があるのか、なかなか知る機会がなくて漠然とした不安を持っていました。今回聴講し、ウクライナで起きている戦争の始まりと、ウクライナの歴史について学び、各国の思惑や日本との関係性、今後の日本の動向などを理解することができ

き、今の日本や世界の情勢に自分の意見を持つことが大切であると学び、改めて選挙に行くことの重要性を感じました。また、日本国憲法第9条についても深く考える機会にもなりました。

第二章 戦争の放棄
 第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は

武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

日本国憲法第9条では、「国際平和の希求」、「国際紛争を解決する手段」という言葉が使用されています。日本だけではなく、世界にまで目を向けている憲法であるという点について、改めて強く感銘を受けました。

日本国憲法9条の記念碑が世界各国24カ所に置かれおり、日本だけではなく世界に広まっていく事が、平和につながるのではないかと考えました。

日本国憲法は世界にまで

目を向けている憲法

セントラルキッチン長町事業所 管理栄養士 渡邊真衣

7月2日、みやぎ保健企画職員総会第2部として、国際ジャーナリスト伊藤千尋氏による特別講演、「今こそ憲法をまもり、活かすために」がオープン参加で開催されました。

現在日本の戦力は、世界で9番目に強いものですが、世界の中で9番目の戦力というのにも驚きですが、与党は防衛費を2倍に増やすと言っています。

伊藤千尋氏が、「果たして、戦争をしないことを憲法9条で謳っている

にも関わらず、防衛費を増やし世界3位の戦力を備える必要があるのでしょうか」と我々に問いかけた言葉が強く印象に残っています。

各国での戦争や紛争がなくなつて欲しいという気持ちから、戦力の強化や憲法9条の改憲を促している日本だけではなく、全世界がより良くなるためにも、選挙に行かなければいけないと、選挙の重みを感じました。

私たち民医連では、沖縄県や広島県、長崎県で直接戦争の跡地を見て学

日本政府は核兵器禁止条約を署名・批准せよ

県連事務局次長 石澤 旬

「核なき世界を願う」行動の輪がひろがっています。原水爆禁止世界大会の成功に向けた平和行進が宮城県入りし、6月23日仙台市青葉区の平和ビル前でも、国民平和



古川でのスタンディング集会

行進の平和スタンディングが行われました。県連事務局から4名、各民主団体の代表者など合計30名が集まり、街中を行き交う多くの方々に「核兵器廃絶」を訴えました。立ち止まって署名に積極的に対応してくれた方、一言伝フラスターを撮影させてほしい、「宣伝チラシはないの?」と強い関心を寄せる方もいました。

今年の原水爆禁止世界大会は、大きな分岐点のなか開催されます。ロシアがウクライナ侵攻を続け、核兵器使用の威嚇を繰り返しています。日本国内でも危機感を煽る報道も目立ち、日本維新の会などは、米国の核兵器の日本配備を前提とした「核共有」を主張しています。

一方で、6月21日~6月23日にウィーンで開催された核兵器禁止条約第1回締結国会議では、核抑止論の誤りを明確に指摘したウィーン宣言が採択されました。会議にはNATO

6月下旬には、県内各地でも平和行動が取り組まれました。



仙台平和ビル前でのスタンディング集会



スペイン領カナリア諸島テルデ市にある日本国憲法九条の記念碑

ぶ機会があるので、いつでも私も直接見て学びたいと思います。

健康手帳

たまとしろは我が家のお嬢様たち(ねこですが)たまは御年13歳でしろは9歳になります。▼箱入り娘でお外にはでたことがありません。たまは3回ほど家出をしたことがありますが、3回目は夜窓を開けていたら帰ってきました。なんぼ寒がりなんでしょう。

▼しろは窓のところに上がって外を眺めています。ときどき、鳥がいるといつもと違う鳴き声で鳥にむかって鳴いています。話しかけているの?▼毎朝5時になると、「にゃー!」(はらへった)と起こしにくるので、召使(飼い主)は寝不足になっています。食べたときに、満足してどこかへ行ってしまおうし(はらたつは)▼夜は夜で、「にゃにゃ〜」(のどかわいた)と入浴中にドアの外にはりついています。ストーリーカーいかな?▼それでも、召使が帰宅するとお出迎えをしてくれて、「にゃーにゃー!」(なでろ、なでろ)とおなかをだして寝転んでくれます。おかげで、踏みそつになるし、暑くなつてきて涼しいところを選んで寝ています。ときには、暑すぎてとけるようにのびきっています。ねこも熱中症の心配。▼のんびり過ごして毎日ねこ生活を楽しんでいるたまとしろでした。





環境問題と私

第7回

坂総合病院附属北部診療所 所長 宮沼 弘明

私の住むマンションから仙台港が良く見渡せます。絶好の眺望が自慢でしたが、パワーステーション(石炭火発)ができてから、煙突から出る灰色の煙を毎日眺めることになりました。煙をみるだけでなくも持病のアレルギー性鼻炎が悪化したように思っています。

2016年秋、被災した仙台港に関西電力が石炭火発を建設する動きがあると聞いて、「なんで、被災地に」と驚きました。その後更に2つ石炭火発建設計画があると知り、驚きを通り越して怒りがこみ上げました。儲けのためなら何でもする企業の論理と、被災地を大企業の儲けに提供する宮城県知事に対して憤りを禁じ得ませんでした。このまま見過ごせないと考え、「県連仙台港石炭火発を考える会」を立ち上げました。会を中心に学習や健康調査を行い、「石炭火発稼働差止訴訟」に

民医連として協力してきました。残念ながら訴訟は敗訴しましたが、運動は現在も続いています。会も現在は、「環境問題を考える会」と名称を変更し、広く環境問題に取り組もうと活動を継続しています。

毎回学習しながら、LINEなども使って県連全体に情報発信を行っています。特に地球温暖化問題はこれからの世代と地球の未来がかかった重大な問題です。地球温暖化は、熱中症はじめ、感染症、暴雨災害など、私たちの健康と生活に密接に関わっています。今、全職員討議を進めている宮城民医連7次長計でも、地球温暖化をはじめとした環境問題に積極的に取り組もうと提起しています。

4大公害病に象徴されるような大企業による環境汚染が問題になりました。全国の民医連事業所は住民の健康を守る立場で公害病に積極的に取り組みました。現在も水俣病をはじめとした裁判闘争支援などに関わっています。民医連綱領にも「……平和と環境を守ります」と明記されています。

環境問題に少しでも興味のある方は、私か県連事務局に是非お声をください。お待ちしております。

環境問題を考える会公式LINE

医療・介護のお仕事体験フェア

「一人一人の患者さんと向き合う姿勢がかっこいい」

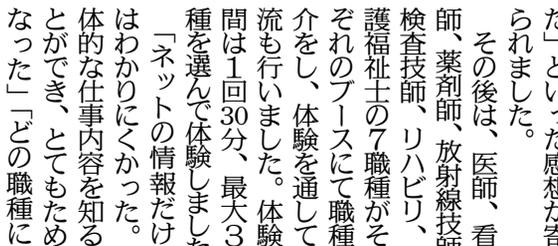


県連事務局 医学生担当 佐藤 宏美



オープニングステージで話す富山院長

人の患者さんに向き合う姿勢がかっこいいと思います、僕もこういう医師になりたいと思つた「人の命の重みややりがいなどを考えることができた」地域に根付いた医療はとてもすばらしく今後も広まると良いと思つ



看護師：感染予防ガウンを着て点滴体験



インフルエンザ検査キットを体験

6月26日(日)、TKPガーデンシティ仙台にて「医療・介護のお仕事体験フェア」を開催し、宮城県内の中高生55名が、医療・介護の7職種を体験しました。

この企画は、宮城厚生協会、みやぎ保健企画、宮城厚生福祉会との共催で初めて行いました。コロナ禍で医療現場での仕事体験ができず、県内の

高校や医療・介護の職を目指す学生から「体験活動をした」「体験できないまま進路を決めないといけない」といった声が寄せられており、開催に至りました。

オープニングステージでは、坂総合病院の富山陽介院長が、末期癌患者の多職種連携の実践について話されました。

参加者からは「一人一人の患者さんに向き合う姿勢がかっこいい」と思つた、僕もこういう医師になりたいと思つた「人の命の重みややりがいなどを考えることができた」地域に根付いた医療はとてもすばらしく今後も広まると良いと思つ

その後は、医師、看護師、薬剤師、放射線技師、検査技師、リハビリ、介護福祉士の7職種がそれぞれのブースにて職種紹介をし、体験を通して交流も行いました。体験時間は1回30分、最大3職種を選んで体験しました。「ネットの情報だけではわかりにくかった。具体的な仕事内容を知ることができ、とてもためになった」「どの職種にも

た」といった感想が寄せられました。

この中から1人でも多くの担い手が誕生してくれたら嬉しいです。

歩んできた歴史について講演

宮城厚生協会本部 事務 小野寺 知洋



6月28日に坂総合病院 外科系有志の呼びかけで、長きに渡り宮城民医連で医療活動や民医連運動の先頭に立ち、ご指導頂いた阿南陽二医師の「定年退職記念講演」が行われました。当日の会場参加

者数は40名ほどで、200m参加者を含めると100名弱の参加となりました。阿南陽二医師は、東北大学医学部を1984年に卒業後、同年に宮城厚生協会に入職し初期・後

期研修を行い、外科の専門研修として北海道大学、名古屋大学で肝胆膵を学ばれました。また、1991年には全国的にまだ一般的でなかった腹腔鏡下手術を坂総合病院に取り入れた第一人者でもあります。その後、古川民主病院の外科科長、坂総合病院の外科部部長、副院長を歴任し、2018年4月から古川民主病院に副院長として赴任しました。厚生協会では副理事長としても活躍されました。また、宮城民医連では副会長を2012年から5期10年間、全日本民医連の副会長を2014年から4期8年にわたって務められました。

「失敗は成功のもと」と題して多岐に渡りご講演いただき、宮城厚生協会のお話や、第一世代の故皆川國雄医師から始まり、各世代の外科医師の紹介、臓器別の外科の歩みの説明など、宮城厚生協会や坂総合病院の事業拡大の経緯と重なっていることが感じられる内容でした。

また、学生時代に外科を目指した理由から、故熊谷玉於先生との消化器外科に進んだエピソードやご自身の失敗談についても話されました。

そして「私の歴史(番外編)」として、ご自身の出身地のことや、ライフワークの一つである各国でのサッカーW杯観戦のことに触れ、最後にロシアのウクライナへの軍事侵攻を踏まえ、防衛費増の問題や、戦争をさせないことが重要であると話されました。

講演後、手術室の看護師長からの花束贈呈、全体での記念撮影を行いました。阿南先生、長い間大変お疲れ様でした。

クロスワード

《解き方》イラストをヒントにして、二重ワクの6文字をうまく並べてできる言葉は？ (作・モロズミ勝)



クイズの解答は事業所名、氏名、職種を記し県連事務局に送ってください。メールは不可。ファックスは可。正解者に抽選で5人に図書カードを進呈いたします。余白に日頃考えている事などを書き添えて下さい。「声」の欄に掲載させていただく場合があります。応募資格：臨時・パート含む県連職員。締切：9月1日当日消印有効。発表：9月15日号。6月15日号答え①左端の人が持つパケツ。②左から2人目の人の鼻。③左から3人目の人の手。④右側の魚の目。⑤右から2人目の人のサングラスの有無。⑥その人の釣りの長さ。⑦右端の人の帽子の有無。応募総数15件。

当選者：小栗富士枝 ケアステーション ながまら、菊地宏至/坂総合病院 小山亜希子/古川民主病院、滝浦貴/泉病院、那須まゆみ/有老人ホーム はなみずき(長町病院)。(敬称省略)

ヨコのカギ
1110 8741
たいてい疲れて、安心。白濁のことです。ベーターベン(の産生地)小惑星リュウグウの砂から見つかった生命の源。数を数えること。核兵器禁止条約は……なき世界の実現を目指す。

タテのカギ
242320191715141312
幸……、気……、命……記……案……示なくて七……。私心がないこと。公平……。屋敷のことです。ハソコは「又明の……」ピカッ「ゴロゴロ」……。軟らかい球を使う……。野球パンにみそ汁は……。折衷

1 ヴァカエルはヒキガエルやツチガエルの別称。2 2022年9月23日に開業する西九州……。3 橋は長崎市の飲食街木を割る道具です。花、葉、芸の共通点は何？。アイ……。デー々……

9 徳川幕府最後の将軍・徳川慶喜は……藩主の子息。映画「ひまわり」の舞台。非常によく……。11 広告を目的とした印刷物。……投合は……お互いの気持ちや考えが合うこと。感